

風の流氷

◆ 一般投稿作品 ◆ 岡崎桜雲 選

農の妻身嗜みして厄落し
戸を開けて遺影の笑みに春風を
点滴も暖房室で良き心地
赤い服の女が二人春を編む
花吹雪吉井勇の歌碑に降る
椿蒸す湯気に一族集ひけり
寒つばき根元に香る迎春花
水雨降る鳥も時で高いびき
神事終へ新社の春めきぬ
冬されのどしやぶりの夜をたのしめり
長らえて守りし老婆のお屠蘇かな
春待つや水辺の生命動き初む
暁闇にコロナ収束祈る春
春の柵牛が顔出し皆なでる
買初もネットで済ますコロナの禍
春一番洗車の窓の砂ぼこり
ストーブが客を呼びこむ朝の市
春一番そこら咲くもの吹き飛ばし
初咲きの赤を極めて寒椿
山積みのこんなに売れる恵方巻
晴れの日の新しい白足袋風さやか

山崎 雅也
前田 裕子
畠山 千江
原 茂
山崎 貴子
森本 幸美
西野地 薫
岡本 初美
五百蔵利美
伊藤 清子
山崎 寿美
中村 紫乃
三谷 誠郎
田村 一翠
秋山 英身
大場比奈子
秋 星
溝淵 龍泉
東 月
吉川 恵
小松 美鶴

◆ 美良布俳句会 ◆

歩かねば萎ゆるこの脚笹子鳴く
啓蟄や血圧計を軽く巻き
縁側に糸目の猫と日向ぼこ
チーンソーの合ひ間合ひ間の初音かな
飴配る昔話に日永し
山の家旧友のごと鶴来る
積ん読の背文字の書棚朝寝覚め

北村 幸子
北村 里子
小野川順子
中内ゆかり
前田 芳子
高田 米子
甲藤 卓雄

◆ かはく俳句会 ◆

春泥を被りしままに草乾く
一日に一個の力寒卵
七草のひとつ清水の湧くところ
立春や山河の風のまだ硬し
梅開くこの山里を愛しめり
春風の厨にバナラエッセンス
転ろぶなよ転ろぶなよとて春動く
梅の花一輪二輪日差し濃く
トーストのぼんと跳ねたる早春賦
如月や農に兆しの土の声
浮寝鴨おのが波もて揺れるたり
水仙の北を向くもの折れてをり
初春や気の引き締まる干支色紙
爆笑につづく爆笑女正月

乾 真紀子
黒岩千英子
岡本 敏子
小松 昇
津田吾燈人
野村 里史
前田 欣一
前田 智
宮崎ただし
宗石 愛喜
森本 之子
山崎かずみ
山中 明石
杉山 春萌

◆ かがみ野俳句会 ◆

野水湖に水輪たたみて浮寝鳥
カーテンのすき間春暁Vサイン
遠野火や夜の帳へ漢消ゆ
節分や心の鬼も払いたし
夫と見し野火の匂ひを曳き戻る

古川 信子
利根 弘子
山崎 鈴子
坂元 道子
佐竹 洋子

今月のキラリ

広報委員会

寒つばき根元に香る迎春花

迎春花は中国原産の落葉低木で、早春、葉にさきだつて、小さな六裂の鮮やかな黄色筒状花をつける。花の形がやや梅に似ているので黄梅というが、梅とはまったく関係のないモクセイ科の植物である。作者は寒椿の根元に芳しき香りを放つ迎春花を見つけた喜びと、いち早く春の訪れを感じた想いを美しく詠っている。

俳句・短歌の投稿方法

▼ 投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼ 俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼ 誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】 総務課内広報委員会事務局（俳句・短歌）係
〒782-18501（住所記載不要） FAX 53・5958

第18回吉井勇顕彰短歌大会

吉井勇の功績を顕彰する短歌大会に、全国各地から、一般79名・154首、学生409名・409首の投稿がありました。今年に残念ながら、表彰式と講演会が新型コロナウイルスの影響で開催することができませんでした。ここに入賞した方々の作品とお名前を掲載します。

【受賞作品】 一般の部

吉井勇大賞 背に余る荷物を負ひて山路行く歩荷の腰の小さな布団
吉井勇賞 水を飲む一口のためマスク取るはずまを過ぎる秋風涼し
井上佳香賞 好みたる司牡丹の空きびんを夫を偲びてなで捨てたり
依光ゆかり賞 風風ぎて今ぞとドローンは飛び立ちぬ青田靡かせ消毒終へる
佳 作 十万の林檎の木箱あつまりて青果市場にその香あふれる
廃屋に並びし鋤鉞手に握る人なき秋の鈍色の黙
地下足袋に小鉤をかけて手のひらに今年蜜柑の重さはかりぬ

【受賞作品】 中高生の部

吉井勇大賞 牛の背にはじける滴空向けば雲間に見ゆる虹の切れ端
吉井勇賞 作業着はキレイな時はただの服汚れることで立派に変わる
井上佳香賞 裁縫箱いろんな道具が増えていき何だか女子力上がったようだ
依光ゆかり賞 身長もテストの結果ものびなくてのっぽの友に点数をさく
佳 作 やりたいこといっぱいあるからつらいんだ手ぶらでダンスのステップをふむ
落ちていく線香花火の火の玉はいつかの僕の苦き思い出
最高だ楽しい時間ホームマッチ最後は笑顔で仲間とひとつ

【受賞作品】 小学生の部

吉井勇大賞 母は城兄は石垣姉は堀家族が居れば怖いものなし
吉井勇賞 りく上はみんなまで走るとこまでもあきらめないぞ大はしりする
井上佳香賞 ミニバスの試合の少ないコロナ禍で勝ち残りたい最後の試合
依光ゆかり賞 秋の日にこうようを見てきれいだなでも少しだけかなしくなるよ
佳 作 てつぼうでみんななかよくまわりまわるときにはみんなさかさま
雪積もり家族の足跡残ってる小さな足あと大きな足あと
雪げしきこたつに入りながめてるあしたにはないきれいなけしき

- 香長小学校五年 嶋村 陸
- 山口県中村小学校三年 奥藤 直久
- 片地小学校六年 山崎 陸
- 大宮小学校五年 安澤 柑太
- 大宮小学校三年 河村 ゆう
- 片地小学校五年 國光 慧
- 大宮小学校五年 西村 渚沙
- 香川県石田高校三年 岡田 充騎
- 香川県石田高校一年 松井 秀斗
- 香川県石田高校二年 矢木 彩乃
- 高知南中学校二年 吉田 桜
- 高知南中学校三年 高見 陽介
- 高知南中学校三年 鳴岡 磨宏
- 高知県春野高校二年 田村 奈弓
- 茨城県鹿嶋市 和田山可扇
- 香川県丸亀市 寒川 靖子
- 京都府宇治市 井上 三貴
- 香美市 大石 綏子
- 青森県弘前市 山内 聖子
- 兵庫県西宮市 宗石えり子
- 安芸郡 蛭子 泰明